

令和4年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

I 総括及び重点目標の取組状況

= 重点目標 =

- 1 組織体制と財政基盤の強化
- 2 地域福祉事業の推進
- 3 生活支援・総合相談事業の推進

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症は猛威を振るいましたが、各種の制限が緩和され、社会全体が落ち着きを取り戻す中で、ようやく安定した生活が営めるようになってきました。しかし一方で、緊迫する世界情勢を背景に、急激な物価高騰の波が国民の生活を直撃しており、日々の生活に困難を抱えておられる方も数多くおられます。また、コロナ禍を通じて深刻化している孤独・孤立の問題も懸念されているところです。

このような中、米子市社会福祉協議会では、誰もが自分らしく安心して生活を送ることができる地域社会を目指し、支え合いのまちづくりに取り組むとともに、生活課題を抱える方々に寄り添い、丁寧に支援を実施してまいりました。

地域福祉事業では、コミュニティワーカーが中心となって地域に寄り添い、コロナ禍においても地域の住民同士のつながりが失われないよう、サロンや見守り、地域防災等の地域活動の支援や「福祉のまちづくりプラン」の作成支援に取り組みました。今後も、地域住民やボランティアの方、地区社会福祉協議会、民生児童委員等関係機関や団体等と連携し、地域の課題、ニーズに対応できるよう、事業に取り組んでまいります。

生活困窮者自立支援事業や生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業では個別の困りごとに対応し、生活を安定させるための支援を実施いたしました。特にコロナ特例貸付が終了した後に顕在化した困窮世帯は複合的な問題を抱えており、長期的な伴走型支援を心掛けて相談業務を行いました。今後も、生活にお困りの方々が、安定し自立した生活が送れるよう関係機関と連携して相談支援に取り組んでまいります。

また、令和4年4月に米子市が総合相談支援センター「えしこに」を開設され、それまで本会が米子市から受託していた地域包括支援センター事業が市直営の事業として「えしこに」で実施されることになったことに伴い、本会職員が米子市に出向し、「えしこに」の職員として業務に従事しました。出向した職員は、それまで培ってきた専門的知識と技術を存分に発揮し、相談支援業務の第一線で活躍しました。

本会の財政状況では、香典返しの寄付金の減少等が続き、厳しい状況が続いていますが、収益事業として実施している自動販売機の設置が好調に推移しており、収益の一部を活用して、小中学校に図書を贈呈することができました。

今後、財政状況の改善に向け、事業見直しや収益事業の実施を進めるとともに、事業、取組内容の周知や広報に努めてまいります。

II 事業実施報告

1 法人運営事業

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施、情報公開の推進等、適正な法人の運営、財政の健全化と組織の強化に努めた。

(1) 会議の開催

ア 正副会長会の開催

正副会長会を開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

イ 理事会の開催状況（４回）

開催日	内容等
令和4年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告 ・令和3年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認 ・理事・監事候補者選任 ・評議員候補者選任 ・基本財産の処分の議決 ・定款の変更の議決 ・事務局組織規程の改正の議決 ・評議員選任規程の改正の議決 ・経理規程の改正の議決 ・役員及び評議員等報酬等支給規程の改正の議決 ・定時評議員会の招集事項の議決
7月8日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選任議決 ・評議員選任・解任委員会の招集の議決
9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告 ・米子市社会福祉協議会長表彰候補者の決定 ・職員の育児・介護休業等に関する規程の改正の議決 ・事務専決及び代決規程の改正の議決 ・文書取扱規程の改正の議決
令和5年3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告 役員及び職員給与規定の改正の報告 ・職員就業規程の改正の議決 ・嘱託職員等就業規程の改正の議決 ・事務局組織規程の改正の議決 ・役員及び職員給与規定の改正の議決 ・居宅介護支援事業運営規定の廃止の議決 ・米子市中央サービスセンター運営規定の廃止の議決 ・よどえ通所介護事業所運営規定の廃止の議決 ・理事候補者の選任議決 ・よどえ通所介護事業所建物の処分の議決 ・令和4年度資金収支補正予算の承認 ・令和5年度事業計画、資金収支予算の承認 ・評議員会の招集事項議決

ウ 評議員会開催状況（2回）

開催日	内容等
令和4年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認 ・理事・監事の選任議決 ・基本財産の処分の議決 ・定款の変更の議決 ・役員及び評議員等報酬等支給規程の改正の議決
令和5年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 よどえ通所介護事業所建物の処分について ・理事の補欠選任について ・令和4年度資金収支補正予算の承認 ・令和5年度事業計画、資金収支予算の承認

エ 監査会開催状況

開催日	内容等
令和4年5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査

オ 評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、評議員7名を選任した。

- ・開催日 令和4年7月19日
- ・出席者 4人（委員3人、市社協1人）

(2) 定款、規程の改正の状況

- ・定款改正
- ・事務局組織規程改正
- ・評議員選任規定改正
- ・経理規程改正
- ・役員及び評議員等報酬等支給規程改正
- ・職員の育児・介護休業等に関する規程改正
- ・文書取扱規程改正
- ・事務専決及び代決規程改正
- ・役員及び職員給与規定改正
- ・職員就業規程改正
- ・嘱託職員等就業規程改正
- ・役員及び職員給与規定改正
- ・居宅介護支援事業運営規定廃止
- ・米子市中央サービスセンター運営規定廃止
- ・よどえ通所介護事業所運営規定廃止

(3) 役員、評議員の選任状況

ア 役員の選任（令和4年6月22日付）

- ・理事 4人

諸田和平、黒田昌稔、松本俊美、政木人巳

- ・ 監事 1人
佐藤幸人

(令和5年3月28日付)

- ・ 理事 1人
西井 通

イ 評議員の選任 (令和4年7月19日付)

- ・ 1号評議員 4人
田中英道、坪倉幹人、吉村秀次、高梨幹範
- ・ 2号評議員 2人
堀 純寿、川島正尚
- ・ 4号評議員 1人
塚田容子

(4) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

本池美由樹、松本 眞、鎌田真治

イ 研修会の参加

- ・ 福祉サービス苦情解決事業研修会
期日 令和4年9月15日～ オンライン開催
参加者 4人 (市社協職員2人)

(5) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、収益事業として始めた自動販売機設置事業を増台し効果的な設置を行うことで増収となった。この収益は、各学校に図書を贈る活動など地域福祉事業の財源の一部として活用することができた。

また、香典返しや一般寄付金の寄付金税額控除について広報やホームページなどにより周知に努めた。

福祉の地域づくり自動販売機の状況 (令和5年3月31日現在)

区分	実績額 (円)
販売手数料	2,685,506

会費の状況 (令和5年3月31日現在)

区分	世帯数・件数	実績額 (円)
一般会費	37,800世帯	22,680,000
団体会費	93件	465,000
賛助会費	155件	1,260,000

寄付金の状況（令和5年3月31日現在）

区分	実績額（円）
一般寄付	1,663,543
香典返し	7,255,000

(6) 情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。

(7) 広報活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 166号～169号

1回当たり発行部数 45,700部

イ ホームページによる情報発信

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

(8) 人材育成

職員の能力向上と育成を目指し、長期的な人材育成のために鳥取県社協主催の階層的研修等に参加した。また、福祉人材の育成のため、社会福祉士等の養成のため実習生を受け入れた。

ア 研修参加

・福祉職員キャリアパス対応生涯研修

開催日 令和4年11月～12月 1人参加

・市町村社協新任職員研修

開催日 令和4年6月 2人参加

イ 実習生の受入れ

・社会福祉士養成実習 2人

(9) 大会の開催及び参加

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会やイベントの開催を中止した。

ア 米子市精霊会・流灯会（開催中止）

イ 県民総合福祉大会（書面開催）

ウ 米子市福祉のつどい

エ 米子市社会福祉大会（開催中止）

オ 米子市民余芸大会（開催中止）

(10) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

ア 社会福祉事業表彰

- ・永年在職団体役員 23人
- ・永年在職民生児童委員 3人
- ・永年在職施設団体職員 34人

イ 社会福祉事業感謝状

- ・社会福祉協議会役員功労者 2人
- ・多額寄付 1人
- ・ボランティア団体 1団体
- ・永年在職在宅福祉員 21人

ウ 在宅福祉員特別感謝状 26人

(11) 職員の衛生管理

職場の環境改善や職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルス研修を実施した。

ア 衛生委員会 毎月開催 年12回

イ メンタルヘルス研修会（県社協主催オンライン開催）

- ・開催日 令和4年10月18日 16人参加

ウ 健康診断 49人受診（9月）

エ ストレスチェック 49人受診（11月）

(12) 米子市社会福祉法人連絡会の開催

社会福祉法人同士の連携協力、情報交換等を目的に連絡会を組織し、役員会、総会、研修会を行った。令和4年度より「地域お助けネットワークよなご」事業を開始し、法人が行う地域貢献活動を連絡会として支援した。

ア 総会の開催（令和4年7月6日オンライン開催）

イ 役員会の開催（令和4年5月20日、令和5年1月12日）

ウ 研修会の開催（令和5年3月10日）

2 地域福祉事業

地域福祉活動の推進を目的に、地区社協等の地域活動団体や各関係機関に働きかけを行い、各種事業を実施した。またコミュニティワーカーが、様々な関係団体、行政との連携、協働を図りながら地域福祉の向上に資する活動を行った。

(1) 地域支援事業

ア 地域力強化推進事業

コミュニティワーカーを配置し、米子市内における地域福祉活動への協力支援を行った。また啓成、車尾、福米東、福米西、福生東、福生西、義方地

区を担当地区に指定し、より地域に密着した活動支援を行う事業を実施した。

(ア) 地域活動支援関係

- ① 地域支え合い推進会議関係 (市全域 7 件・担当地区 1 4 5 件)
- ② 防災活動・支え愛マップづくり関係 (市全域 7 4 件・担当地区 2 5 件)
- ③ 地域の居場所づくり関係 (市全域 2 2 件・担当地区 1 6 8 件)
- ④ 在宅福祉員活動関係 (市全域 2 2 件・担当地区 1 6 件)
- ⑤ 企業、他法人、多機関との連携協働 (市全域 4 2 件・担当地区 1 4 8 件)
- ⑥ 米子市地域ケア会議関係 (市全域 1 2 件)
- ⑦ 研修会参加 (市全域 2 1 件・担当地区 3 件)
- ⑧ 地域資源の実態把握 (担当地区 1 0 0 件)
- ⑨ 学校教育、福祉学習関係 (市全域 2 件・担当地区 7 4 件)
- ⑩ その他、地域活動支援関係 (市全域 6 2 件・担当地区 1 8 9 件)

(イ) 個別相談支援関係 (担当地区 実件数 2 4 件 延べ件数 3 6 件)

イ 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

米子市と協働し、米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の事務局を担い、計画の進捗管理を行った。また個別検討会を開催し、地域福祉活動推進に関わる協議を行った。

- ・推進委員会の開催 (令和 4 年 9 月 2 2 日)
- ・個別検討会の開催 (令和 4 年 1 0 月 3 1 日、1 2 月 2 1 日、令和 5 年 2 月 1 0 日)

ウ 地区版福祉のまちづくりプラン作成の推進

地区版福祉のまちづくりプランの作成を通じて、住民自身が地域課題を把握し、課題解決に向けた具体的な福祉活動を検討し取り組むことにより、地域福祉活動の推進を実践した。また既に計画を作成された地区における進捗状況の確認、今後の取組への支援を行った。

福祉のまちづくりプランに関する支援の状況

地区	内 容	回数 (回)
福生東	計画策定後の推進委員会、分科会への参加	1 6
	計画で企画された活動の支援	1 3
福生西	2 次計画に関する打合せ、協議	2 0
	2 次計画準備委員会、分科会の開催	1 5
	1 次計画策定後の推進委員会、分科会への参加	2
	1 次計画で企画された活動の支援	1 0
県	計画に関する打合せ、協議	2
	地域福祉推進委員会、分科会の開催	1
啓成	計画に関する打合せ、協議、説明	1 4
	地域福祉推進委員会の開催	1 9

エ 地域での福祉教育の推進

各地区が開催する研修会等に参加し、地域福祉について理解の促進、啓発活動を行った。

オ 地域立子どもの遊び場の支援

地域住民参加の団体に運営している遊び場を登録し、助成を行った。

- ・地域立子どもの遊び場設置数 100施設（市社協登録施設）

カ 各公民館・自治連合会・民生児童委員協議会等との連携

地区内の各種関係団体と連携、協力しながら地域福祉の推進に向けた活動を実施した。

(2) 小地域ネットワーク事業

ア 在宅福祉員による見守り援助活動の推進

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、困りごとの早期発見や安否確認を目的とした在宅福祉員による見守り援助活動を行った。

- ・在宅福祉員数 754人
- ・見守り援助活動対象者数 4,268人
- ・見守り援助活動利用者数 2,911人（延べ利用者数28,196人）
- ・歳末見守り援助活動利用者数 3,470人

イ ふれあい・いきいきサロン活動の推進

日中閉じこもりがちの高齢者等が定期的に集うことにより、日中活動の充実や住民同士の繋がり、困りごとの早期発見を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

- ・ふれあい・いきいきサロン設置数 150サロン
- ・ふれあい・いきいきサロン世話人交流会の開催（令和4年12月5日）

ウ 支え愛マップづくり活動の推進

自治会域において、災害時の要援助者避難支援や平常時の見守り体制構築を目的に作成する支え愛マップづくり活動について事業内容、作成手法等の説明会を実施するなど活動の支援を行った。

また、「災害時における支え愛地域づくり推進事業」について周知し、災害時の支え合い活動における補助事業の活用啓発、申請相談及び支援を行った。

「災害時における支え愛地域づくり推進事業」補助決定件数

事業区分	件数（件）
災害時要支援者対策促進事業	4
ステップアップ事業	1
住民間組織間交流事業	1

(3) 地区社協活動支援事業

ア 地区社協活動財源の支援

地区社協に対し補助金を交付し、地域福祉活動に対する支援を行った。

イ 地区社協への各種情報提供

県内で開催される研修会等の情報を地区社協に発信するとともに、地区社協からの相談に応じ、適宜必要な情報提供を行った。

ウ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会の事務局運営

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。新型コロナウイルス感染防止のため1回は中止とした。

- ・連絡会の開催（令和4年5月27日、10月3日）
- ・正副会長会の開催（令和4年5月9日、8月12日）

エ 米子市在宅福祉員代表者連絡会の事務局運営

米子市在宅福祉員代表者連絡会の運営に協力するとともに、在宅福祉員活動の支援、協働を推進した。新型コロナウイルス感染防止のため、合同研修会は中止とした。

- ・連絡会の開催（令和4年6月24日）
- ・正副会長会の開催（令和4年6月3日、11月22日）

3 生活支援・総合相談事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

経済的かつ社会的困窮状態にある方に対して、包括的かつ継続的な相談支援、同行支援、求職活動の支援、自立支援計画の作成等を実施した。令和3年度はコロナ特例貸付の影響により相談件数が著しく増加し、かつコロナ特例貸付再貸付対象者はプラン作成が必須であったため、プラン件数も増加したが、令和4年度はコロナ貸付申請が終了し、コロナ特例貸付再貸付対象者がいなくなったために、相談件数、プラン件数ともに半減した。また、相談内容をアセスメントした後、必要に応じて他機関につなぎ、場合によっては他制度を活用するなどしたために、つないで終了した件数が大幅に増加した。

近年、相談内容が多問題化かつ複雑化しており、長期間に渡る伴走型支援を行う事例が増えてきている。

相談の状況

(件)

	令和4年度	令和3年度
新規相談受付件数	494	747
他機関へのつなぎで終了件数 (生活福祉資金含む)	1,114	584
プラン作成件数	31	435

プラン作成評価の状況 (件)

	令和4年度	令和3年度
評価実施件数	148	35
終結件数	143	22
見られた変化あり	32	28
一般就労開始	13	7
就労収入が増加	3	8

イ 会議、研修への参加

① 重層的支援会議への参加

情報共有と連携強化のために毎月第2水曜日、合計8回出席した。

② 支援調整会議の開催

情報共有と支援プランの適正性の確認および評価を行う。また関係機関と協議することで支援の質を確保する。毎月第2水曜日、合計12回開催した。

③ 総合相談センター「えしこに」との連携強化のための勉強会への参加

5月17日 市役所関係機関と支援のための検討会議出席（相談員2名）

6月29日 子育て世帯支援のための勉強会出席（相談員2名）

(2) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。保護受給者への支援が増加している。

支援対象世帯の状況 (件)

	令和4年度	令和3年度
一般	31	12
貸付申請中	1	8
生活保護申請中	5	6
生活保護受給中	6	10
合計	43	36

支援対象世帯の人数内訳 (件)

世帯	令和4年度	令和3年度
単身	23	22
2人	10	8
3人以上	10	6
合計	43	36

食品・食材提供者（各年度3月31日現在） (件)

	令和4年度	令和3年度
登録者	35	26

(3) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

(件)

	令和4年度	令和3年度
支援件数	15	10

(4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。自立や成年後見制度の移行等により利用者数が減少した。

現在利用者数（人）（令和5年3月31日現在）（ ）内はR3年度実績

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護（再掲）	合計
29 (35)	19 (21)	14 (14)	0 (0)	25 (28)	63 (70)

新規契約・解約件数（件）

高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
0	6	1	3	1	0	0	0	2	9

相談援助件数（件）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1,119 (1,794)	1,275 (1,172)	1,017 (1,141)	3 (3)	3,414 (4,110)

・内部審査会の開催

契約締結審査会の審査前に内部での審査会を開催し、契約の適正性の確認と支援プランの評価を行った。毎月第2月曜日開催、合計12回開催した。

(5) ふれあい総合相談事業の実施

日常生活の悩みや心配ごとについて、よなご暮らしサポートセンター職員が相談に応じる一般相談を実施した。

相談の開設状況

()内はR3年度実績

相談種類	開設日	相談延件数（件）
一般相談 (電話相談含む)	月～金曜日 (祝日及び年末年始の休日は除く) 午前9時～午後5時	43 (49)

相談取扱件数及び内容（複合的な相談内容のため件数と内訳は一致しない）

（ ）内はR3年度実績

相談者延件数	43件 (49件)		
相談分類	件数(件)	相談分類	件数(件)
生 計	2 (4)	法 律	3 (8)
年 金	0 (1)	財 産	0 (3)
職 業・生 業	0 (0)	事 故	0 (0)
住 宅・土 地	16 (9)	児 童 福 祉	1 (1)
家 族	5 (14)	障 害 者 (児) 福 祉	10 (5)
結 婚・離 婚	0 (2)	母 子 福 祉・父 子 福 祉	0 (0)
債 権・債 務	3 (1)	高 齢 者 福 祉	12 (16)
健康・保健・医療	8 (14)	苦 情	9 (10)
教育・青少年	0 (0)	そ の 他	12 (11)
		合 計	81 (99)

(6) 資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。昨年度はコロナ禍によるコロナ貸付が著しい増加が見られたが、今年度は貸付件数が減少している。

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付が令和2年3月23日より開始され令和4年9月で申請受付が終了した。

資金別貸付件数及び金額

資金の種類	貸付件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金(福祉費)	3	3,766,000
緊急小口資金	9	840,000
教育支援資金	3	5,280,000
臨時特例つなぎ資金	3	300,000
総合支援資金	6	1,139,576
小計	24	11,325,576
緊急小口資金 (コロナ特例貸付)	223	42,300,000
総合支援資金 初回 (コロナ特例貸付)	173	94,350,000
小計	396	136,650,000
総合計	420	147,975,576

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。

()内はR3年度実績

資 金 の 種 類	貸 付 件 数 (件)	貸 付 金 額 (円)
一 時 貸 付		
20,000円 (1～2人世帯)	37 (38)	740,000 (760,000)
30,000円 (3人以上世帯)	4 (4)	120,000 (120,000)
合 計	41 (42)	860,000 (840,000)

4 ボランティア活動、福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報収集、また各種講座の開催等を行うことでボランティアの育成、支援を図った。

ア 米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

登録団体について、更新の手続き及び活動状況の調査を行った。

区分	団体数、人数
登録ボランティア団体	85団体、2,816人
登録個人ボランティア	380人

イ 米子市ボランティアセンターへの相談状況

新型コロナウイルス感染防止のため、介護施設等からのボランティア依頼は減少したが、イベントへの依頼により、相談及びコーディネート件数は増加した。

区 分	件数 (件)・人数 (人)
新規登録[個人、団体]	個人18、団体2
依頼件数[要請・お願い]	32
相談件数[助言・情報提供] ()内は介護支援ボランティアの状況	319 (118)
コーディネート ()内は介護支援ボランティアの状況	101 (31)
その他相談等[保険・部屋利用等]	299

ウ ボランティア講座・研修会の開催

ボランティアを始めたい人等を対象に、「ボランティア入門講座」を5回開催した。またサロン世話人の方等を対象に、「レクリエーション講座」を4回開催した。

① ボランティア入門講座

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	6月24日 (金)	『ボランティア活動とは』 講師：米子市ボランティアセンター職員 『視覚障がい者をサポートする点訳・朗読・誘導 介助を学ぼう』 講師：わらび会会員	10	ふれあいの 里
2	8月5日 (金)	『ボランティア活動とは』 講師：米子市ボランティアセンター職員 『手話を学ぼう！～手話サークルの紹介～』 講師：西部手話サークル連絡協議会会員	6	
3	10月14日 (金)	『ボランティア活動とは』 講師：米子市ボランティアセンター職員 『要約筆記ってなあに？～視覚障がい者のコミュ ニケーション支援～』 講師：要約筆記の会「虹」会員	17	
4	12月9日 (金)	『ボランティア活動とは』 講師：米子市ボランティアセンター職員 『こども食堂について』 講師：こども食堂ネバーランド会員 『乗馬セラピーについて』 講師：乗馬セラピーボランティアーズ会員	14	
5	令和5年 2月24日 (金)	『ボランティア活動とは』 講師：米子市ボランティアセンター職員 『傾聴ボランティアってなあに？～傾聴ボランテ ィアについて学ぼう！体験してみよう！～』 講師：よなご傾聴しあわせの会	7	
合計			54	

② レクリエーション講座

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	7月4日 (月)	『チェアヨガや歌リズム・歌体操をしてみよう！』 講師：みのかや運動処よらいや NESTA パーソナルフィットネス トレーナー 大島雅子さん	19	米子市 公会堂
2	9月12日 (月)	『脳トレで、脳も心も活性化！』 講師：福祉レク・ネットワーク鳥取 代表 玉木 純一さん	34	
3	11月7日 (月)	『チェアヨガや歌リズム・歌体操をしてみよう！』 講師：みのかや運動処よらいや NESTA パーソナルフィットネス トレーナー 大島雅子さん	18	
4	1月16日 (月)	『工作～身近なもので作ってみよう！遊んでみよう！～』 講師：おもちゃ工房とんぼ舎 伊達 孝禮さん	12	ふれあいの 里
合計			83	

エ ボランティア活動保険加入の受付

① ボランティア活動保険

ボランティア活動中におこる事故を補償する保険。高校生ボランティア体験事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

加入受付件数 82 件

区 分	加入者数 (人)	備考
在宅福祉員	781	補助金 @350
高校生 (ボランティア体験事業)	50	補助金 @500
個人ボランティア	921	
総計	1,752	

② ボランティア行事用保険

本会をはじめ、その構成員や会員である団体、グループなどが主催する様々な行事に対する総合補償制度の受付を行った。

加入受付件数 42 件

③ 事故発生件数

取扱件数 6 件

オ 米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

7月27日(水)から9月2日(金)は、米子市こども支援課が児童扶養手当現況届受付窓口として研修室2を使用したため、ボランティア団体の貸室利用を中止した。

部屋別利用状況(開所日数:306日)

	ボランティア室	録音室	研修室1	研修室2	録音録画室	合計
件数	228	0	300	202	48	778
人数	1,894	0	3,127	2,560	205	7,786

利用目的種別状況

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	246	329	9	47	0	147	778
人数	2,829	3,435	46	195	0	1,281	7,786

カ ボランティア器材の貸出し

器材名	件数
アイマスク	0
ボランティア関連書籍	9
移動式スクリーン	0
デジタル印刷機	145

キ 広報活動・情報提供

- ① 情報誌「ぼらんていあ情報」の発行(米子市ボランティア協議会共同発行)
年6回(偶数月)1回当たり2,200部を発行し、ボランティアグループ、市役所、公民館、社会福祉施設、学校、病院、銀行等に配布した。また市社協ホームページにも掲載した。
- ② ボランティア情報掲示板の設置
ボランティアセンターに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント、講座開催等の情報提供を行った。
- ③ 市社協ホームページの活用
市社協のホームページ上にて、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

ク 情報収集

各関係機関及びボランティアグループ等に対し、ボランティア受入れについて調査を実施した。

ケ ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会との共催事業

コ 米子市介護支援ボランティア事業(米子市受託事業)

登録人数 66人(事業受入協力 69施設)

サ 障がい者との交流事業

米子市、米子市ボランティア協議会との共催事業「米子市福祉のつどい」を開催し、全体で109名の参加があった。

シ 米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力
ス 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行った。また米子市ボランティア協議会と災害時におけるセンター運営への協力体制について協議を行った。

(2) 学校での福祉教育の推進

ア 福祉教育推進校指定

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内36全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。

福祉教育推進校育成助成状況

区 分	育 成 助 成 (校)
小 学 校	23
中 学 校	11
特別支援学校	2
計	36

イ 福祉教育推進研究協議会の開催

新型コロナウイルス感染防止のため、小中学校校長会にて事業説明、協議を実施した。

ウ 福祉教育実践記録集の発行、配布

各学校の福祉教育に関わる取組をまとめた福祉教育実践記録集を発行し、各学校、関係機関へ配布した。

エ 図書贈呈事業

自動販売機の収益を使い、児童・生徒が本に親しみ、感性と創造力を豊かに育む目的で小中学校に図書を贈呈した。

・実績額 244,629円

図書贈呈状況

区 分	贈呈校 (校)	
小 学 校	7	五千石小、淀江小、箕蚊屋小、伯仙小、成実小、大篠津小、弓ヶ浜小
中 学 校	3	尚徳中、箕蚊屋中、淀江中

5 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

地域の子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者（援助・両方会員）と受けたい者（依頼・両方会員）を会員として組織化し、アドバイザーが仲介し、会員相互の育児支援活動を行った。

広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催した。また他のファミリー・サポート・センターや関係機関との連絡調整を行った。

会員数（令和5年3月31日現在）（人）

依頼会員	850
援助会員	220
両方会員	27
合計	1,097

(1) 研修・会合開催状況

ア アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間9回行った。（新型コロナウイルス感染防止のため12月は中止）

イ 依頼会員の登録説明会を年間91回実施した（うち日曜開催1回）。コロナ感染防止のために依頼会員登録説明会を個別対応し、随時受付した。また諸事情により来所できない方に対し、自宅や子育て支援センター等に訪問し依頼会員登録説明を行った。

ウ 安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講座』を年間2回実施した。

エ 既存の援助・両方会員を対象にした事故防止に関する講習会『救急救命講習会』を年間2回開催した。

オ フォローアップ講習会では、「発達障害のある子どもの理解とかかわり方について」と題し、講演会を開催した。

カ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として、7月「エアロビ・ヨガ」、12月「クリスマスリース作り」を行った。

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数(人)	参加者数	
			延べ人数 (人)	備 考
アドバイザー、サブリーダー-連絡調整会	9		94	
依頼会員登録説明会	91	97	160	家族(会員の子ども等)同席者も含む
援助会員養成講座	2	援助会員6 両方会員1	60	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む

救急救命講習会	2		18	講師を含む
フォローアップ講習会	1		31	講師、託児（会員の子ども）、託児要員を含む
会員交流会	2		58	講師、会員の家族及び子どもを含む
合計	107	104	421	

(2) 活動状況について

「子供の習い事に伴う送迎」を中心に、年間2,278回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
学校の登校前、保育所・幼稚園の登園前の預かり	20
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	216
学校・保育所・幼稚園の送り	216
保育所・幼稚園の迎え	438
放課後児童クラブ終了後の預かり	1
学校の放課後の迎え	56
学校の放課後の預かり	33
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	1
保護者等の外出の場合の援助	167
放課後児童クラブの迎え	40
子供の習い事に伴う送迎	866
子供の習い事に伴う預かり	3
保育所・学校等休みに伴う送迎	14
保育所・学校等休みに伴う預かり	8
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の援助	132
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0
子供の病気時の援助	0
その他	67
合計	2,278

(3) 広報活動について

ア 年間3回会報誌を作成し、会員、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約100か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。

イ 米子市内の子育て支援センター（4か所）に来所した保護者に事業説明を行った。

ウ 地域の子育てサークル活動に出向き事業説明を行った。

発行月	会報誌名	発行部数（部）
令和4年6月	よなごファミリー・サポート・センター Vol.24	1,300
令和4年10月	ふれあい令和4年10月号	1,300
令和5年3月	ふれあい令和4年年度末特別号	1,300

6 福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運行を中止、人員の縮小を行うことがあったが、感染状況の減少等により徐々に通常運行に移行した。

老人福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
83	896

福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
97	1,233

7 福祉団体等への支援・協力

(1) 募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ア 鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- イ 日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ウ 米子地区更生保護協力会

(2) 福祉団体の事務局運営と活動への支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体及び協力団体等の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営及び活動助成 9団体

- ① 米子市老人クラブ連合会
- ② 米子市肢体不自由児者父母の会
- ③ 米子市手をつなぐ育成会
- ④ 米子市身体障害者福祉協会
- ⑤ 米子市連合母子会
- ⑥ 米子市戦歿者遺族会

- ⑦ 米子更生保護女性会
- ⑧ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑨ 米子市ボランティア協議会
- イ 福祉団体等の活動助成 5 団体
 - ① 米子市民生児童委員協議会
 - ② 米子市連合婦人会
 - ③ 鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
 - ④ 米子保護区保護司会
 - ⑤ 青少年育成米子市民会議
- ウ 協力団体活動助成 1 団体
 - ① 米子市自治連合会